

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 27-1-047
補助事業名 平成27年度 国際交流の推進活動 補助事業
補助事業者名 (公社)アジア協会アジア友の会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

有効な資源を再生し必要としている人々に贈ることで、循環型経済社会に向けて人と地球環境に優しい自転車の活用促進を図るとともに、同じ目的をもって国境を越えた協力体制・信頼関係を構築する中で地域社会・国際社会に貢献できる人材を育成し、国際交流の推進を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

人と環境に優しい自転車による国際交流推進 (<http://jafs.or.jp/action/cycle-aid/>)

大阪府内の5市から回収した引き取り手のない放置自転車を修理・再生し、自転車を必要としているフィリピンへ10月に353台の自転車を、またカンボジアへ12月に350台の自転車を贈った。この補助事業を広報するために、様々な団体や行政、イベントと連携して機会をつくり、活動の普及・啓発活動を行った。また、日本とアジアの人々(寄贈国)との相互理解を深めるために、下記の国際交流プログラムを開催。多くの方に集まっていただき、活動の普及・啓発活動をおこなうと共に、意見交換をおこなった。活動に実践的にかかわることで、今後国際社会で活躍・貢献できる人材育成につながっている。



自転車について説明
フィリピン カビアオ町



自転車を心待ちにする村人
フィリピン カビアオ町



子ども達へ自転車贈呈
カンボジア タケオ州



活動報告会開催
大阪市

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

贈られた自転車を有効に活用することにより、それまで不可能だった通学や仕事の効率化、生活の改善を可能にし、受益者達が自立への第一歩を踏み出せるようになった。そのことが地域社会福祉の底上げとなり、よりよい地域社会の創造につながっていく。また地球環境保全への意識を高めることで、同じ地球の住民としての視点を持ち、互いに協力しあう国際交流の推進活動を拓げていくことが期待される。自転車を通じて、日本と各国の国際交流が活発になり、人と人の絆が深まることによって、草の根の理解と協力の輪が広がることが予想される。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

平成27年度事業報告書 (<http://jafs.or.jp/action/cycle-aid/>)



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

アジアネット126号 (現在作成中)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人アジア協会アジア友の会
(コウエキシャダンハウジンアジアキョウカイアジアトモノカイ)

住 所： 〒550-0002
大阪市西区江戸堀1丁目2番14号

代 表 者： 会長 萩尾 千里 (ハギオ センリ)

担 当 部 署： 総務 (ソウム)

担 当 者 名： 業務主任 岡本佳子 (オカモト ヨシコ)

電 話 番 号： 06-6444-0587

F A X： 06-6444-0581

E - m a i l： asia@jafs.or.jp

U R L： <http://www.jafs.or.jp>